

皆さん、こんにちは。初めまして、江陽中学校ALTのルビィと申します。

去年の秋に来日し、初めて大雪と寒さの厳しい与謝野町での冬を何とか乗り越えました。乗り越えた先には、美しい景色と温暖な気候による素晴らしい日本の春が待っていました。

日本の春といえば、入学式と卒業式、別れと新しい出会いなど多くの変化が生まれる時期かと思えます。その時期に開花を迎える日本の美しい桜は、そのような変化が生まれる時期をより美しく、より印象的に彩ってくれます。

私の母国であるアメリカにも桜はありますが、日本のように一般的な樹木ではなく、また、私たちの国の卒業シーズンは、日本よりも数か月後となるため、満開の桜が私たちの入学式や卒業式を美しく



日本には美しい自然があふれていますね

彩ってくれることはありません。

今年の春は、私と夫の2人が母国から遠く離れた日本で暮らすという、今までで一番大きな決断を下した後に初めて訪れる春となります。私たちの新しい生活を美しい桜が、より印象的にしてくれました。

私はこの美しい桜を見ながら、これから私たち夫婦が体験するであろう、日本での素晴らしい生活のことを考え、とても楽しみにしています。

母国とは大きく異なる文化、食べ物、景色など、ありとあらゆる新しい体験をした

と思っています。また、与謝野町でのさまざまな体験を通して、大きく成長したいとも思っています。まるで美しい桜が満開の花を咲かせるように。

与謝野町の皆さん、これからよろしくお願いたします。

時の贈り物 [第120回 風雅な春の宴、曲水の屏風]

江山文庫企画展「屏風あれこれ」で展示中の屏風「蘭亭曲水図」を紹介します。作者の松川龍樞は、江戸時代後期の四条派の画家です。生没年は不明ですが、丹後に滞在したと伝えられ、各地に作品が残されています。中国の故事にちなみ曲水の宴の様子を描いています。曲水の宴とは、蛇行する川に酒を満たした杯を浮かべて流し、杯が自分の前を過ぎる前に詩歌を即興で詠み、できなければ杯の酒を飲み干す遊びです。日本でも奈良時代には春の恒例行事として定着し、宮中や貴族たちの邸宅で催されました。俳句では晩春の季語になっています。



松川龍樞筆「蘭亭曲水図」(部分) 紙本墨画淡彩 六曲一双屏風

には興が乗ってきたのか、岩に向かつて筆をふるう人なども。戯画化された人物一人ひとりの表情がおかしみを誘います。蘭亭曲水図は、風雅な文人の営みに憧れる人々の理想郷として、多く描かれた画題です。本町ゆかりの与謝蕪村も51歳のときに、蘭亭曲水図屏風を描いています。(与謝野町教育委員会)

がんばってます！消防団

編集 ● 本部

● 与謝野町消防団が
新体制でスタート



消防団長
木村 正典

町民の皆さまには、日ごろより消防団活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、4月から新体制となり、心新たに活動を行ってまいります。引き続き「火災ゼロの町・与謝野町」を目指し、徹底した予防活動と消防力の充実を図るとともに、災害時における救済や水防活動など地域の安心・安全を守るための一役を担ってまいります。また、近年は消防団や団員を取り巻く社会的環境が大きく変化し、団員の確保なども非常に厳しくなっています。そのような中ではありますが、団員一丸となり皆さまの生命と財産を守るべく、微力ながら懸命の努力を傾注する覚悟であります。皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

 本部付分団長 (副本部長) 藤原 則裕	 本部付分団長 (副本部長) 野村 哲也	 本部付分団長 (本部長) 米井 宏輔	 副団長 (予防担当) 小室 滋巳	 副団長 (警防担当) 足立 徹生	 副団長 (筆頭警防担当) 白数 忠之
 本部付分団長 (予防) 市田 雅哉	 本部付分団長 (予防) 谷垣 吉信	 本部付分団長 (警防) 渡邊 三紀夫	 本部付分団長 (警防) 堀江 健	 本部付分団長 (警防) 山添 宏明	 本部付分団長 (警防) 井上 毅
 第6分団長 藤原 真吾	 第5分団長 大隅 信善	 第4分団長 伊達 正将	 第3分団長 足立 正行	 第2分団長 高橋 康司	 第1分団長 山本 剛
 第10分団長 和田 元治	 第9分団長 横川 冠	 第8分団長 梅田 聡史	 第7分団長 大上 雄一		



2022 年度全国統一防火標語「お出かけは マスク戸締り 火の用心」